

目次

| | | |
|---------------------------|----------------------|-----|
| ご挨拶 | ・・・・・・・・イレーナ・スルダグァイツ | |
| 目次 | | i |
| 第30回日本語教育連絡会議日程 | | iii |
| 参加者名簿 | | v |
| <論文> | | |
| 皇統連綿と日本事情—王権の履歴書— | ・・・・・・・・蓮沼 啓介 | 1 |
| 日本の教科書に出現する科学用語分析 | ・・・・・・・・坂谷内 勝 | 6 |
| —15年前と現在の比較— | | |
| 「義務教育機会確保法」成立後の夜間中学をめぐる状況 | ・・・・・・・・土屋 千尋 | 14 |
| | 土屋 順一 | |
| 音符は漢字音学習にどのぐらい活かせるか | ・・・・・・・・黒沢 晶子 | 22 |
| —カ・タ・ナ・ハ・マ行— | | |
| 自律的な協働学習は難しいのか | ・・・・・・・・若井 誠二 | 35 |
| —高校日本語授業での試みより— | | |
| 継承日本語教育実践報告 | ・・・・・・・・根元 佐和子 | 47 |
| —年少継承日本語学習者への敬語指導— | 吉開 麻衣子 | |
| 外国人保護者が学校お便り文書に対して抱えている課題 | ・・・・・・・・中嶋 さくら | 57 |
| —外国人保護者と日本人保護者への調査を通じて— | | |
| 中級クラスにおける活動「街案内」実践報告 | ・・・・・・・・高木 伽耶子 | 67 |
| 自発的な表現主体を引き出す場作り | ・・・・・・・・虫明 美喜 | 73 |
| —「即興再現劇」を取り入れた共修クラスでの試み— | | |
| ロシア人大学生による日本語の発音習得過程 | ・・・・・・・・小熊 利江 | 80 |
| —横断研究と縦断研究の結果から— | | |

| | | |
|-------------------------------|-------------------------|--------|
| 『漢字系統樹表 2800』改訂録 | ・ ・ ・ ・ ・ 善如寺 俊幸 | 88 |
| 海外の日本語教師と学習者の活動に関する一考察 | ・ ・ ・ ・ ・ 小川 誉子美 | 93 |
| 北欧フィンランドの事例から | | |
| プーラ大学における日本語教育 | ・ ・ ・ ・ ・ レーナ・スルダグ・ヴァイツ | 102 |
| 学部設立からの3年間の活動および修士課程設立にむけて | | |
| 日本語教授法とパラフレーズの学習 | ・ ・ ・ ・ ・ 鎌田 美千子 | 110 |
| 質問づくりを取り入れた読解活動 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 堀 恵子 | 118 |
| 一グループ活動に対する学習者の捉え方を焦点に一 | | |
| 日本語ライティングの評価研究 | ・ ・ ・ ・ ・ 安達 万里江 | 128 |
| 一文献レビューより「評価の統一」に向けた課題を探る一 | | |
| 日本語教育と就職支援の連携 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 袴田 麻里 | 138 |
| | | 鈴木 加奈子 |
| JFBP のオンライン日本語教師ネットワークの育成、その後 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 林 敏夫 | 147 |
| シャドーイングを用いた発音指導 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 阪上 彩子 | 154 |
| 一オンライン学習プログラムを利用して自律的に学ぶ一 | | |
| <機関報告> | | |
| 関西学院大学国際学部 | | 162 |
| パリ南日本語補習校 | | 164 |
| カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学日本学科 | | 165 |